



トランポリン競技 全日本選手権の改革と開催地決定のご報告

関係各位

平素より弊協会の活動に対し、多大なるご理解と温かいご支援を賜り心より御礼申し上げます。

昨年より、主要大会の開催地選定において、トランポリン関係者の皆様には多大なるご心配とご不便をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。この度、弊協会大会運営委員会において、各関係者の皆様、ならびに秋田県体操協会様のご協力により、2026年度の開催地を以下の通り決定いたしました。

大会名: 日本代表最終選考会 (第39回世界選手権、第3回世界ジュニア、第32回世界年齢別)

期 日: 6月12日(金)～14日(日)

場 所: 国立スポーツ科学センター

大会名: 第63回全日本トランポリン競技選手権大会

期 日: 11月19日(木)～22日(日)

場 所: タクミアアリーナ (秋田県大館市)

全日本トランポリン競技選手権の抜本的改革について

ご承知の様に現在の世界選手権大会では、個人競技、シンクロナイズド競技に加え、団体決勝、オールアラウンド(団体総合)、ミックスシンクロ、さらにはタンブリングやダブルミニトランポリン(以下、ダブルミニ)など、多様な種目が採用されておりますが、日本国内に目を向けますと、これまでの全日本選手権は日程や環境の制約により、一部の種目や形式に限定をせざるを得ない状況になっております。

出来る限り世界と同じ形式の舞台を用意し、多種目の選手が同じ熱量で戦える環境を創りたいと考え、現在の全日本選手権を「多種目において真の日本一を決める最高峰の舞台」へと進化させる決断をいたしました。

1. 日本体操協会史上初、3種別同時開催

最初の挑戦として、2026年の大館市大会よりトランポリン・タンブリング・ダブルミニの3種別を同時開催いたします。これは日本体操協会史上初の試みであり、個別に開催されていたそれぞれの大会を一つに集結させ、種目を越え感動が生まれる場を創出します。特に、タンブリング・ダブルミニを少しでも多くの皆様の目にふれる環境を整えるための施策でもあります。

2. 世界を見据えた「6月開催」へのシフト

2027年より、開催時期を従来の10月から6月上旬へと変更いたします。

世界へ直結: 本大会を世界選手権等の「日本代表最終選考会」と位置づけ、選手の皆さんに最高のパフォーマンスを発揮していただき、世界への切符を掴み取れる場といたします

環境整備: 秋に過密する国際大会との重複を避け、選手が心身ともに万全な状態で国内最高峰の戦いに挑めるよう配慮いたします

目標となる大会: 多くの子供たちや選手たち、また関係者の皆様に、最高峰の大会として目指していただける機会を創出します

3. 競技性の向上と新たな連帯（2027年度以降 施行検討中。一部2026年開始予定）

団体決勝の採用： 個人競技だけでなく、所属団体の絆を象徴する「団体戦」を強化します

参加枠の拡大： 所属団体の枠を越えたチーム構成や団体決勝の復活、さらには個人競技の開催地枠の採用など多彩な参加枠を検討します

上記の改革により、以下の内容が **2027年以降に変更**となる予定です

1. トランポリンの全日本予選会を廃止し「全日本年齢別」にて予選を実施する
 2. 6月の全日本タンブリング・ダブルミニ競技選手権大会を廃止し、3月開催の全日本タンブリング・ダブルミニトランポリン競技年齢別選手権大会を全日本予選とする
- ※ 今後も継続的に検討を重ね、然るべきタイミングにて詳細を発表予定

これらの改革・変更は、日本のトランポリン、タンブリング、ダブルミニが次なるステージへ飛躍するための「ステップ」になると確信しております。慣れ親しんだ形式を変えることには困難も伴いますが、選手たちが世界の頂点で輝く姿を想像し、また、この最高峰の大会の価値を皆様と共に作り上げ、多くの選手たちが目指したいと思える大会に育てるため、私たちは歩みを止めることなく努力を続けてまいります。

関係者の皆様におかれましては、この大きな挑戦の主旨をご理解いただき、共にトランポリン・タンブリング・ダブルミニ界のより良い未来を築いていけるよう、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2026年 3月吉日

公益財団法人日本体操協会
トランポリン大会運営委員会